

税金は国民からのお小遣い？

東金商業高校 三年

近頃、税金に関するニュースが頻繁に報道されている。身近なものでいえば、ガソリン税の値上げや、消費税の増税問題などといった私たちの生活に負担が増えるものが多い。だが、そんな税金もこの国が豊かになるためならばということ、真意ではないが仕方ないとも思える。

そんなニュースが飛び交う中、何を考えているんだと、真意でなくとも妥協することの出来ないニュースがある。それは、政治家や官僚などによる税金の「無駄遣い」だ。その中でも最も記憶に残っているのが、国土交通省が道路特定財源を主な収入源とする道路整備特別会計から89～06年度にかけて職員の娯楽用としてマッサージチェアやカラオケセット、スポーツ用品などの購入費を781万円も支出していたことである。これに関しては誰もが怒りを示していることだろう。

この事件が起きたことについて、私なりに調べてみたところ、日本の政界ではその年の予算をきちんと使い切らないと来年度は減らされるという風習などが原因らしい。これにより、日本の役所では予算を使い切る人間が仕事のできる人間という変な状態になっているそう。

確かに、仮に1000万円の予算があったとして、そのうち700万円しか使わなかった場合は残りの300万円は無駄になる。と

なれば、次回は800万円程度で様子を見ようという形になるのは納得がいく。そして正しい図式にも見える。だが、この予算の削減を彼らは先に述べた方法を使って防いでいる。そうしなければ、差額の300万円を確保できなからだ。では、何故その300万円を確保する必要があるのか、そう考えると見方はおのずと変わってくる。つまり、予算を減らされないように無駄遣いをしているのはなく、無駄遣いをする為に無駄遣いしているのである。予算が減れば今まで自由に使えていた分のお金が減る。それを必死で抑えているのだ。

しかし、そんなことはお小遣いの足りていない子供のすることである。減らされたくないと言うよりも、むしろ使い切ることで増やして欲しいという低脳な意思表示でしかないのだ。

こんな状況が続くと想うと、税金の意味や在り方にすら不信感を覚える。そもそも税金には3つの機能というのがある。公共サービス（軍事、国防、裁判など）の費用調達、持てる者から持たざる者への富の再分配、景気の加熱期、後退期に合わせた増税、減税による景気の調整といったものだ。この3つの機能がしっかりと働いているかと、国民に問いた場合、このようなニュースが飛び交っている以上、決して良い返事は返っては来ないだろう。

では、どうすれば国民が苦勞して支払って

いる税金の無駄遣いを止めることが出来るの
だろうか。私には、私の調べたことを踏まえ
ると、意図的に余らせているようにしか思え
てこない。ならば、それを無くせばいい訳だ。
しかし、政治に関するニュース、番組等を見
ていると、いまいち国民の声が国へ届いてい
ないようである。というよりも、国自体があ
まり聞く耳を持っていないというイメージが
どうしても染み付いている。それはやはり、
国民が発する意見が「国会に届いてこそ」の
ものになっているからである。つまり、国会
は日本の頂点にいることに胡坐をかき、国会
に届いてこそ「意見」なのであると決めつけ
ているのだ。よく私は両親に「議員になれ」
と冗談を言われるが、この言葉からもわかる
ように、誰かがそこまで意見を持って行かな
ければならないのである。

状況を打開するためには、まずここを変え
なければならぬ。そこで私が考えたのは、
下から上に持っていくのは力があるのではな
い、上から下に取りに来ればいいのではない
かということだ。国民が国会に意見を伝える
のではなく、国会が国民の意見を取りに来る。
この体制を強くすれば普段は届かないような
声も届くようになると思う。

そこで活躍するのがインターネットである。
現在の日本のインターネットの普及率を考え
れば、十分に意見の収集場として役立つと考
えられる。そして、最大の利点はインターネ
ットならではの匿名性にある。これはどの

誰だかわからないから、信用性に欠けていたり、不適切な発言があるというように考えてはいけない。匿名性があるからこそ、しっかりと自分の意見を伝えられるということが最も重要なのだ。良い意見を持っていたとしても、面と向かって話せない人も当然いるはずである。しかし、インターネットならば自らの「空間」で勝負できる。対人で話すときと違い、相手の威圧を感じることも無い。ため、縮こまることも無いというわけだ。

これを利用し、国会に対する意見の収集を行うわけだ。だが、国会のホームページにそんなものを設けても意味が無い。人が集まりづらない所に意見箱を置いても、当然集まるはずがないわけだからだ。そこで役立つのが、「2ちゃんねる」などといった、匿名性のある巨大なインターネット掲示板である。その中に国会の公式ページを作り、そこに意見箱を作ればいいのである。こうすることで、いまままでただの話題で終わっていたモノが、強力な力を持ってくるのだ。また、その中で優秀な意見があれば、国会の審議にそのまま招き入れてもいいと思う。当然ここでも匿名であることは重要である。審議の席だから本人が顔を出して参加すべきなのではなく、巨大なパソコンの画面を設けるなどして、そこから意見を伝えるのだ。こうすることで、その場の空気に飲まれることなく、自分の意見をしっかりと伝えることが出来る。また、それと同じような意見を持った人を集めて、団体とし

て参加しても良いと思う。

このように、常に国会が国民の意見を取り入れようとする体制を持つことで、予算に余りがでないほどに予算を有効活用していくことが出来るはずである。そして、この問題に限らずとも、自分たちが納めた税金の使い道や政治の方針などを自分たちで論ずることで、国民の税に関する意識や、政治に関する意識も良い方向に変わって行くだろう。